

令和8年度第1回都市機能の整った快適なまち推進懇話会概要

日 時 令和8年7月10日（金）

10時00分～12時00分

場 所 逗子市役所5階第1会議室

・議題

- （1）都市機能の整った快適なまち推進プランの事業進行管理表について
- （2）その他

・出席者

谷 守弘座長 田中克己メンバー 木谷和三郎メンバー 大塚広美メンバー
石井達郎メンバー 関 基治メンバー 齋藤由佳メンバー 小野寺 宏メンバー
沼田千亜紀メンバー 三澤正大メンバー 船田博士メンバー

・欠席者

武藤浩二メンバーは都合により欠席

・事務局

栗原環境都市部担当部長 津田環境都市部次長（都市整備課長事務取扱）
加藤都市整備課副主幹（土木管理係長事務取扱）
津金都市整備課副主幹（公共施設整備担当） 西主任

・傍聴者 0名

・記録者 津金

1. 開会

事務局より、令和8年度第1回都市機能の整った快適なまち推進懇話会の開催を宣言した。
また、開催にあたり栗原担当部長より挨拶をした。

2. メンバー紹介

出席メンバー及び事務局の自己紹介を行った。

3. 都市機能の整った快適なまち推進懇話会について

事務局より本懇話会の趣旨及び役割について説明を行った。

4. 議題

議題に入る前に座長を昨年度から引き続き谷メンバーと決定した。以下、座長により会議
進行をした。

議題

(1) 都市機能の整った快適なまち推進プランの事業進行管理表について

座長より進捗状況の評価についての説明。重点事業を先に議論していく旨を説明した。

(質疑応答・意見)

基本目標(1): 都市環境の改善

狭あい道路整備事業(重点事業)

【関メンバー】狭あい道路の評価は件数よりもm数のほうがわかりやすいと思う。逗子市の狭あい道路は全体で何mあるのか？

【事務局】168.121kmとなっている。この数字から狭あいが消された割合を計算して評価としている。

【関メンバー】件数よりもm数で評価してもらいたい。評価の仕方を変えたほうがいいのでは。

【石井メンバー】狭あい道路があると緊急車両が入れない。そこを広げて住みやすいまちにしていくべきだが、道路全体の65%以上あるということか。

【事務局】逗子市道全体の道路延長に対して狭あい道路がどのくらいあるのかということではない。整備の目標に対する割合になっている。市道全体の中で狭あい道路がどれくらいあるということは、今後確認してできればお示ししたい。

【木谷メンバー】狭あい道路 168.12km を解消するのはとても大変だと思う。逗子市の狭い道路には傷んでいる箇所も多く、事故にもつながりかねないので取り急ぎ維持管理をしっかりと行ってもらいたい。

【事務局】道路の維持についてはパトロールだけでは気づきにくいので、市民の方から情報をいただいて、その都度対応している状況ではあるが、了解した。

【石井メンバー】狭あい道路の実態を聞きたい。申請があり、現場を確認し交渉していくと思うが難易度は高いのか。

【事務局】難易度は高い。

崖地対策事業（重点事業）

【石井メンバー】住民協内でも懸案の危険ながけ地があり、市とどのように解消するか議論をしている。市も防災工事費助成制度の枠を広げているなど努力していただいているのは理解しているが、がけ地の所有者に対応してもらわないといけないので難しい事業である。

【事務局】民間の所有者ということが一番課題である。急傾斜地崩壊対策事業は民間の土地も工事ができる手法の一つだが、要望代表者が所有者を探し出して同意をもらうなどとても苦勞しており、また、周辺住民も動いていただかなければいけないので、とても大変である。

下水道施設再整備事業（重点事業）

【船田メンバー】基本計画という言葉が出ているが、大きな事業であり、現在は基本構想が策定済みであり、令和 10 年度までに基本計画を定め、施設の配置等を検討する予定であり、再整備に向けて作業を進めているところである。

【木谷メンバー】耐水化計画とは何か。

【船田メンバー】浄水管理センターが沿岸部に立地することから、津波や高潮による浸

水の可能性があるため、既存施設の耐水化状況及び再整備を行う上で今後の工事期間中の耐水化エリア等の検討を行い、各施設の重要度をもとに段階的な対策計画を策定するものであり、国の方からも策定が求められている。

なお津波対策については神奈川県が示す想定最大津波高さが 10.4m となっていることから、浄水管理センターにおいて想定される最大の津波浸水深が地盤面から 7 m ～ 9 m を超えるとされているが、耐水化の対象外力は、処理場の地表面から約 1.0m 程度の高潮時浸水深を現在想定しており、具体的には今後整理していく。

基本目標（２）：バリアフリーのまちづくり推進

道路改良事業（重点事業）

【石井メンバー】金沢新道踏切の距離が長く、お年寄りや障がいを抱えた方が時間内に渡り切れないという場面を何回か目撃している。事業の評価としては順調であると思われるが、安全に渡るための歩道橋のエレベーター設置要望について県は難しいとのことであり、根本的な問題があるということは申し上げたい。

また、車と自転車が同時に渡る形になっており、歩道は改善していくとのことだが、住民の感覚としては改善の余地は多いと思われる。

【谷座長】年内に完了する予定になっているのか。

【事務局】年内に完了する予定である。

【木谷メンバー】面的にみると県道を拡幅しなければいけないと思うが、周辺の土地の買収という考えはないか。

【事務局】金沢新道踏切が改良したとしても、県道に関しては広がらない。そのため、渡った先が歩行者にいい環境かということそうではないため、課題は多々ある。県道は都市計画道路でもあるため、県へ買収も含めた県道の拡幅要望を行っている。

【関メンバー】ＪＲの商業ビルの建設を現在行っているが、建設と合わせて自由通路の整備を行えば、少し遠回りとなるが安全に通れると思うが。

【事務局】自由通路は今のところ計画はない。

【木谷メンバー】この事業の評価については順調であると思うが、色々な課題があると思われる。

基本目標（３）：公共施設等の更新・統廃合・長寿命化の実施

JR 東逗子駅前用地活用事業（JR 東逗子駅前複合施設整備事業）（重点事業）

【関メンバー】ワークショップまで開いて、みんなでどのような建物を作っていこうと進めていたと思うが、建設費の高騰により予算が合わないということで休止になった。そのことについての経緯の説明は市民にはしているのか。

【小野寺メンバー】去年の 10 月に休止という判断をし、11 月に説明をしている。今後必要に応じて説明していく。

【石井メンバー】公共施設の統廃合が一番重要であると思っているが、どのように優先順位をつけて進めていくのかわからないし、財務状況のバランスがどうなっているのかわからない。

【小野寺メンバー】優先順位については、東逗子の計画を休止し、浄水管理センターや消防分署、小中学校等の大型公共施設の整備を優先していくべきだという判断である。

【石井メンバー】その辺りを市民に見える形にしなければいけないと思う。久木小学校の改修も中止となっている中で、市長が小中学校の統廃合をするとも言っていたが、統廃合については、ダウンサイジングという形になると思われることから、単に生徒だけの問題でなく、地域にとっても大きな問題である。

【木谷メンバー】優先順位というのを市民にもっと開示してほしいということを記載してもらいたい。

基本目標（４）：歩行者と自転車を優先するまちの推進

歩行者と自転車を優先するまちの推進

【谷座長】警察とも協力して取り締まりを強化したり、子供たちにも自転車のルールを伝える機会は昔よりは増えてきている。そういう意味では変わってきているとは思う。

【石井メンバー】歩行者と自転車のまちというのは道路面積が限られている中で、それぞれが安全であるためにどう共存するかというところであると思うが、まだほど遠いと思われる。公共交通の審議会も行われており、そことも密に関わっていくと思うがどのように関わっているか。

【三澤メンバー】公共交通の審議会では、どのような公共交通が望ましいのか、どうし

たら持続可能なのかという議論を進めている。そのため、いかに公共交通を活用してもらえるかというところを重点的に行っており、自転車とどのように共存していくかというところまではいっていない。あえていえばシェアサイクルの利用促進などである。

【石井メンバー】車の速度制限など、積極的に規制をしていかなければならないと思うが。

【三澤メンバー】今まで速度制限がない生活道路は 60km/h で走れていたが、30km/h 規制に強化された。自転車への青切符制度も開始し警察も積極的に啓発をしている。

【関メンバー】自転車のルールは徹底してもらいたいので、より呼びかけやPRをしていてもらいたい。

【木谷メンバー】幹線道路を優先して通っているが、路上駐車をして資材の積み下ろしをしている車両は逗子市内でどこにもいる状況である、警察との連携が必要であると思うが幹線道路だけでも規制を強化してほしい。

【三澤メンバー】難しい問題である。まちづくり条例で大型の建物を建てる際には荷解き用の場所を整備する改定は行った。今後、警察と連携してスムーズに流れるように方策がないか考えていきたい。

【田中メンバー】新宿自治会で 20km 制限をして、速度を出している車を止めて注意等をしていると聞いているが、苦情等は来ていないか。

【三澤メンバー】自治会と一緒に周知をしているが、車を止めても苦情を言われていることはない。

公共交通拡充支援事業

【谷座長】シェアサイクルについてプッシュして進めてほしいと思うがどうか。

【三澤メンバー】当初は観光目的で実証実験を行っていたが、最近は住宅地で通勤通学目的の利用が多くなってきている。より拡充したいと考えている。各住宅地の自治会から設置してほしい要望も度々あるが、近隣の方との合意が難しいところがある。

【木谷メンバー】評価で採用されているアンケートは誰からとっているのか

【三澤メンバー】市民意識調査という 1500 人無作為抽出のアンケートでの 1 項目で評価

している。毎年違う人が感覚で評価しているので、この評価が妥当かと言われるとなかなか難しい。

【谷座長】逗子を取り巻く交通環境は変わっているのか。

【三澤メンバー】バスが減便していることはご存知だと思うが、それ以上に利用している人も少なくなっている。そのため利用を促す施策が大事と捉えている。

【谷座長】バスを増やすことはあきらめているのか。

【三澤メンバー】事業者からは運転手不足と利用者が少ないことから増便するのは難しいと言われている。

(2) その他

【関メンバー】議事録の概要版を作成してもらえると報告がしやすいのでお願いしたい。

【事務局】検討する。

【谷座長】他に事務局からあるか。

【事務局】本日いただいた意見をまとめて、事業進行管理表を作成し、できたものは概要と併せて送る。第2回の懇話会については、11月ごろに開催することを考えているが、本日意見を伺えなかった重点事業以外の事業について意見をいただければと思う。